

2021年6月

2020年1月に「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマを発表し、ロータリーには変化が必要だとお話した際、これほど早くに変化の波が押し寄せるとは誰も思ってもみなかったことです。しかし、私は昔から困難を機会としてとらえてきました。今年、この新たな機会に、私たちはロータリーのあり方をふたたび模索しました。長年、ロータリーの柔軟性と適応性を高める方法を検討し、いくつか実験も行ってきましたが、今年には誰もが実験し、そして成功を収めたのです。オンライン会合は今やどのクラブでもと取り入れられ、クラブは世界中から例会にゲストを招いています。

世界中のロータリーファミリーと知り合うのを何より楽しみにしているスザンヌと私にとって、皆さまと直接顔を合わせてお会いできなかったこの1年はさみしいものでした。それでも、私にとっては新しいロータリー体験が得られる年となりました。世界中をバーチャルに旅したのです。こうならなければ出会えなかったはずの何千人ものロータリアンと出会うことができました。エバンストンの会長室に足を踏み入れなくても会長として任務を果たし、しかも旅費の節約にもなる新しい方法が見つかりました。

2020-21年度に私たちが出会ったのは、機転がきき、適応性が高く、創造的なロータリーでした。次の段階は、パンデミック以前のやり方に逆戻りすることではありません。先に進まなければならないのです。オンライン例会を通常形式とするなど、新しい活動方法や機会を提供するために、今年学んだことを活かしていきましょう。

クラブの力を保つためには、あらゆるレベルでロータリーをより若く、より多様にしていかなければなりません。多様性が意味するものは地域により違いますが、ぜひあらゆる背景の人びとを会員として歓迎してください。また、女性会員を増やし、その役割を強化することもひとつの手立てです。

ローターアクトクラブを対等の存在としてみなすロータリアンが今では多くなったことは非常に喜ばしいことです。ローターアクトクラブをあらゆる活動に招き入れて、今後もこの認識を広めていきましょう。若いリーダーに働きかける機会を無駄にすることなく、ローターアクトと連携して、数多くの新しいアプローチに取り組んでいきましょう。

ロータリーが新型コロナウイルスワクチンの公平な配布の呼びかけや誤情報との戦いなどを通じて予防接種キャンペーンを支援し、パンデミックと戦っていることを心から誇りに思います。一方、ポリオ根絶に向けて今後も全力で取り組んでいかなければなりません。そして今、環境問題という新しい重点分野に取り組む機会も誕生しました。

「ロータリーは機会の扉を開く」と初めて宣言したあの日と今日では、世界は大きく異なります。この1年でロータリーがこれほど大きく前進したことを誇りましょう。そして今後も前進を続けていく中で、クラブやクラブの仲間たちを大切にしていきましょう。ロータリーの命であり、さらなる繁栄をもたらしてくれる大切な存在です。

この特別な年度、「超我の奉仕」の新たな意味を模索するこの年に、ロータリーに奉仕する機会が得られたことをスザンヌとともに感謝しています。ロータリーは、理念を实践する人びとのコミュニティだと思っています。この苦難の時に、奉仕をこれまで以上に重視しなければならないことは明らかです。今こそ、超我の奉仕がロータリアンにとって何を意味するかを世界に示す機会なのです。

世界を変えるためにロータリーが力を貸せる数多くの機会が今後も控えています。ともに手を伸ばし、さらなる高みに達するために機会の扉を開いていきましょう。扉を開いて新しい考えを受け入れれば、頭も心も開かれていくものです。私たちのすべての行動がどこかで誰かに機会をもたらすことをどうかお忘れなく。

Rotary Opens
Opportunities
ホルガー・クナー会長第2580地区ガバナー
野生司 義光(東京小石川RC)

30周年 新たなる一歩へ! 会長 岡本隆一

本日のプログラム

「退任挨拶」
岡本隆一会長・原田俊彦幹事
「引継式」

次回のプログラム

「就任挨拶」
原田俊彦会長
田中 保幹事

<次年度の主な予定>

- 9月13日(月):東分区インターシティミーティング(東武ホテルレバント東京:ホスト 葛飾RC)
- 9月27日(月):東分区懇親ゴルフ大会(水海道ゴルフクラブ:ホスト 江東RC)
- 10月28日(木):ガバナー補佐訪問
- 11月 4日(木):ガバナー公式訪問

<行事の視聴サイト>

以下の視聴をご希望の方は事務局へお申し出下さい。URLをお知らせ致します。

・地区大会動画視聴(7月末まで)

- 1 セレモニー
- 2 ガバナー挨拶・RI会長代理挨拶・姉妹地区ガバナー挨拶等
- 3 各種委員会報告・大会決議採択・表彰等
- 4 地区奉仕委員長報告
- 5 記念講演 小池百合子 東京都知事
- 6 ガバナーエレクト等挨拶

・IM動画視聴

- 第1部(30分30秒) 水野正人PG 「基調講演」
- 第2部(38分45秒) 「パネルディスカッション」



■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蠣殻町2-1-1

ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615

■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F

TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611

E-mail tokyobay@club.email.ne.jp

HP https://tokyobayrotaryclub.com

■ 役員 / 会長 岡本 隆一
会長レク 原田 俊彦
幹事 原田 俊彦
副幹事 田中 保

会報委員長 市川 英治



第十七回 私の最終提案「どうあるべきか、今後の日本ロータリー」
(最終回) 今こそ、自治権行使で自クラブの復活を！！
ロータリーの未来は「クラブ奉仕に徹すること」のみに残されている
参考〔東京ベイロータリークラブ30周年記念寄稿全一覧
私のロータリー役職及び作成資料一覧〕

●東京ベイロータリー30周年記念寄稿

第一回 「ロータリーの魅力を知る」
第二回 「当初の3日間の集まりで歴史を綴る要旨が決められた！」
第三回 ロータリー初期の「基本原理の確立」期（1905-1027）とは
第四回 ロータリーの「Service」とは ー奉仕と訳すべきではないー
第五回 「ロータリーのServiceを『目的（旧・綱領）の原語』に見る」
第六回 「例会」を考える ーロータリーの核・魅力とはー
第七回 月間テーマ「地域社会の経済発展月間」（米山月間）について
(2014-15年以前まで10月プログラムは「**職業奉仕**・米山月間」でしたが)
第八回 米山記念奨学会の誕生の経緯
第九回 国歌斉唱、国旗掲揚と
ニコニコボックス、ロータリーソングの慣習をご披露します
第十回 ロータリー財団月間に因んで
ーロータリー財団の始まり、経過、今後ー
第十一回 ーこの12月でロータリー前期を終了することに因んでー
ロータリーの現状と今後どうする
クラブ自治権をもってクラブ再興を！！
第十二回 今半期最終レポート 決定的提案
ー自治権をもって自分達のクラブは、自分達の力で再興を！！
ー楽しく魅力ある自分達のためになる例会づくりー
第十三回 我がクラブ30周年を迎えて
「30年のあゆみ」作成、例会／2021.1.28パワーポイントで説明
第十四回 「職業奉仕月間に因んで」
ー職業奉仕が何故生まれたか？ー
ー職業奉仕がロータリー運動の中核と言われている訳は？ー
第十五回 「職業奉仕」はロータリーの根幹であり、中核だという意味
第十六回 「100周年を迎えた日本ロータリーの現況」
＝戦前・戦後の歴史が物語る＝
第十七回 私の最終提案「どうあるべきか、今後の日本ロータリー」
今こそ、自治権行使で自クラブの復活を！！
ロータリーの未来は「クラブ奉仕に徹すること」のみに残されている

●私のロータリー役職及び作成資料一覧

2006-07年 東京ベイロータリークラブ会長
2012-13年 第2580地区東分区 ガバナー補佐
2015-17年 ロータリーの友地区代表委員（2期）※感想文24ヶ月分有
2017-18年 地区職業奉仕委員長
2018-22年 地区職業奉仕委員（4期）
2018-20年 地区立法案検討委員（2期）
2021-22年 地区クラブ運営支援委員会副委員長

- ・ロータリー大年表
- ・日本ロータリー年表（戦前）（戦後）と各ナレーション
- ・米山梅吉略歴 ・ポール・ハリス略歴
- ・日本古来の商業倫理・三井、住友の発生

続く➤

- ・『ロータリー日本100年史』の「100人のロータリアン」に掲載
「小林雅一」を書き寄稿。
「米山記念奨学金創立」「東京ロータリー幹事13年」「日本ロータリー復帰の立役者」
「職業奉仕」実践、大企業に。
- ・パワーポイント資料数十点「ロータリーとは」「ロータリーを学ぶ」
「職業奉仕とは」「近年のロータリーの現況」「近年の規定審議会の動き」
「ロータリーの真髄・変えてはならないロータリー」「小林雅一」etc

近6年間、ロータリーの根幹「地区職業奉仕委員長」以来、来期を含めて5期担当。ご指名により、2021-22年度は、地区クラブ運営支援委員会も副委員長を拝命しております。

●近年の世界及び日本のロータリー会員数状況

前、第16回で歴史を紐解きながら状況を記してみました。

- ・世界のロータリー会員数、1,214,363人（2019.2）
1986年に100万人を突破し、1996年には120万人となりました。その後、21世紀に入り、120万を超えたところで、世界は約30年間ほぼ横バイの状況が続いています。
- ・日本のロータリー会員数も1996年の13万人超から、現在（2021）では86,332人と著しく会員減が生じています。

●私の最終提案「どうあるべきか、今後の日本ロータリー」

やはり、ロータリーの原点、ロータリーの精神・理念は、目的、定款にある通り、倫理基準と高潔、道徳的水準と品位が明記されていますね、おまけに行動規範にも、いわゆるロータリーは「人づくり」「育て」「高め」「奉仕の心（相手を思う）を授ける」「倫理を持って職を営み、生き、世に倫理を提唱する」という理念だと断言出来ます。

とにかく、早急に日本ロータリーの復活には、この理念に基づいた「例会」を型づくるのが第一だと思えます。これは「クラブ奉仕」の「諸委員会に徹する」ことが第一だ、となると思えます。例会は、自己研鑽、切磋琢磨、学び合う場として会員を啓蒙・啓発する場だと思えます。リフレッシュされた**クラブ奉仕委員会活動**が、今後のロータリーを生かすも、殺すもの鍵となる！！と言っても大袈裟ではないはずです。

クラブ奉仕委員会の「SAA・ニコニコ」「出席・ソングリーダー」「親睦」「プログラム」「ロータリー情報・雑誌」「会報・広報」「会員増強」「職業分類・会員選考」までの各9～10委員長、副委員長で18～20人の多数の会員が携わります。それぞれの委員会の“生まれ変わりよう”で、例会が「元気が出る」「面白い」「楽しい」「為になる」こと請け合いです。再興には、これを一つずつ地味に行っていくことだと考えます。五大奉仕が主でクラブ奉仕は従でやや近年マンネリ化が進んでいるような気がします。私は、自分なりにアイデアを入れた各委員会の「活動方針・計画」を作っております。せっかくの30年、或いは、50年、半世紀以上の時間をかけた日本ロータリークラブ！！です。

そして日本も100年を越す歴史を持ち今日があります。何気なく年を重ねたと思うでしょうが、それぞれのクラブに**精神伝統、クラブライフ、友情が共有財産**として存在しているはずです。クラブ奉仕活動がクラブの財産作りとなるのです。

故に、加えて思考を新たに、原点に返り「ロータリーは何故生まれた」「ロータリーの原点は」を学んで頂き、このクラブ奉仕の持つロータリー理念に返って地道に行動することで息を吹き返すことは間違いないと確信しています。

日本ロータリーとしての、輝かしき歴史を継承されることを熱望するものです。

●おしまいに

コロナ禍で例会を行えない中、30周年寄稿として1年間、順序、内容に不備な点もありましたが、私の主張「クラブ奉仕」の一例として「ロータリー情報・雑誌」「会報・広報」「プログラム」委員会の活動方針・計画の一例として記述しましたが如何でしたでしょうか。

ロータリー理念や職業奉仕精神を基礎におき、なるべく精神、意志、魂の入った文章を記述することに努力をはらったつもりでおりますが、読む方々の興味を引き出すことのお役に立てたならば光栄に思います。

長い間の購読に感謝し締めくくりと致したいと存じます。

有難うございました。

以上